

F Mくしろ「市役所からこんにちは」資料（令和2年8月放送分）

放送日 令和2年8月31日(月曜日)午前10時5分～10時20分

（話題1）マイナポイントの付与について

【質問：エフエムくしろ パーソナリティー】

今日は、蝦名市長にお越しいただいてお話しいただきます。それでは、市長、どのようなお話でしょうか？

【回答：市長】

9月1日（火曜日）から始まるマイナポイント付与のための手続き支援についてお話しします。

マイナポイント事業は、国の消費活性化策のひとつとして、一定の手続きを行った人が選択したキャッシュレス決済サービスでチャージまたはお買い物をすると、令和3年3月31日（水曜日）までの間、1人当たり上限5,000円分のポイントが付与されるものです。

マイナポイントの付与に必要なマイナンバーカードは、公的な身分証明書として利用できるほか、インターネットを通じた国税電子申告（e-Tax(イータックス)）に活用されており、釧路市ではマイナンバーカードを利用した住民票などの取得も全国のコンビニで導入しています。

また、来年3月から健康保険証としての運用が予定されているなど、まさに、利便性の高いものとなっています。この機会に是非マイナンバーカードの取得をお願いいたします。

マイナポイント付与を受けるためには、マイナンバーカードの取得の他に、マイナポイントの予約・申込が必要で、釧路市では、マイナポイント取得の推進とパソコン操作に不慣れな方などへの支援として、マイナンバーカードの申請サポートを令和3年2月28日（日曜日）まで、マイナポイントの予約・申込の支援を令和3年3月31日（水曜日）まで行っています。

なお、マイナポイント事業はキャッシュレス決済の一層の拡充を図ることも目的のひとつであり、釧路市が取り組んでいる戸籍住民課などの窓口における手数料等の支払いのキャッシュレス決済が、新型コロナウイルス感染防止対策の観点からも、さらに市民の皆様にご利用されることも期待しています。

マイナポイント事業は4,000万人分（2千億円）を対象として実施されており、8月20日現在で約400万人の予約者数とまだまだ余裕があります。今からマイナンバーカードを取得してマイナポイント付与を受けることも可能ですので、ぜひ多くの方に手続き支援をご利用いただきたいと思います。

【問合せ先】戸籍住民課 TEL：0154-31-4523

（話題2）国勢調査について

【質問：エフエムくしろ パーソナリティー】

続きまして、皆さんにお知らせしたいことはございますか？

【回答：市長】

9月14日（月曜日）から全国一斉に国勢調査を実施します。

国勢調査とは、5年に1度実施される日本国内に住んでいる全ての人・世帯を対象として行われる国の最も重要な統計調査で、1920（大正9）年に第1回の調査が行われてから、今年で100年の節目を迎えます。

今回の国勢調査は、新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、世帯の方と調査員が出来るだけ接触しない方法で行います。

調査の説明をインターホン越しで行い、調査書類は、郵便受けやドアポストに投函して配布します。

さらに、調査員自身についても、毎日の検温や調査活動中のマスク着用など、感染防止策を徹底します。

調査結果は、福祉、教育、雇用、防災など、日本の未来を創るための重要な基礎資料になりますので、調査の回答にご協力ください。また、感染症の拡大防止をする上でも、可能な限りインターネットまたは郵送による回答にご協力ください。

【問合先】都市経営課 TEL：0154-31-4205

（話題3）長期滞在の取り組みについて

【質問：エフェムくしろ パーソナリティー】

続きまして、皆さんにお知らせしたいことはございますか？

【回答：市長】

長期滞在の取り組みについてお知らせします。

おかげさまで、令和元年度も全国から多くの方々に釧路に来ていただきました。

滞在実績は2, 219人で、平成30年度の1, 353人に比べ約1.6倍となり、延べ滞在日数は25, 872日でした。平成18年度に事業を開始してから、滞在者人数、延べ滞在日数ともに過去最大の実績となりました。

北海道より公表された北海道体験移住「ちょっと暮らし」の令和元年度実績で、釧路市が道内市町村の中で滞在人数、滞在日数ともに1位となり、平成23年度から9年連続となりました。

長期滞在については、不動産会社やホテルなどの民間事業者の方々に構成されている「くしろ長期滞在ビジネス研究会」が、「涼しくしろで避暑生活」をキャッチフレーズに夏季冷涼な気候や、スギ・ヒノキの花粉がほぼ飛散していない環境を活かしたPRや、地域に愛着を持っていただくことを目的とした地域学習講座等の活動を行っています。

また、長期滞在者の方からは、「釧路市民の方が温かく迎えてくれる」とのお声もいただいております。釧路市民の皆さんが長期滞在者の皆様を歓迎していただいていることも、滞在先に釧路市を選んでいただける大きな要因であると考えています。

長期滞在の増加は、釧路市民の皆さんのおもてなしの心や、研究会の熱意ある活動が実を結んだものと感じており、あらためて感謝申し上げる次第です。

今後におきましても、「くしろ長期滞在ビジネス研究会」と緊密に連携しながら、釧路地域の魅力の発信や、滞在される方々に、より一層満足していただけるような取り組みを進め、釧路ファンを増やしていきたいと考えています。

【問合先】市民協働推進課 TEL：0154-31-4504

今後のイベントについて

【質問：エフエムくしろ パーソナリティー】

今後、どのようなイベントが予定されていますか？

(鯨肉普及キャンペーン)イベント①

(第11回くじら祭り&くしろの鯨 味めぐり)イベント②

【回答：市長】

9月のプライド釧魚(せんぎょ)「釧路のくじら」を美味しく食べられるイベントを2つご紹介します。

まず、9月5日(土曜日)に和商市場で開催される「鯨肉普及キャンペーン」についてです。このイベントでは、鯨の赤肉を燻製風味に味付けしたジャーキーとプレッツェルをセットにしてお配りします。時間は11時からで、限定200個となります。会場では、ミンククジラの食事方法を説明した資料とともにクジラのヒゲ板を配布する他、鯨料理のレシピなども配布しますので、ぜひ、足を運んでいただければと思います。

次に、9月10日(木曜日)から12日(土曜日)は「第11回くじら祭り&くしろの鯨味めぐり」が開催されます。くじら祭りは市内34店舗の飲食店で「くじら祭り特別メニュー」を税別500円で食べられるイベントです。

この特別メニューは、くじら祭り開催期間中のみ、この価格で提供される各店自慢の鯨料理です。釧路ならではの新鮮な鯨肉を味わえるお刺身やお寿司、ユッケや馴染みのある竜田揚げや生姜焼きのほか、グラタンやステーキなど、くじら祭りのために考えていただいたメニューも多くあります。

さらに、お祭り期間中、特別メニューを含む鯨料理を注文された方には、食事券や鯨肉加工品の詰め合わせが抽選で当たる応募券をお渡ししますので、皆さんぜひご応募ください。

釧路の鯨は9月が旬です。参加店の皆様も美味しい鯨料理をご用意しておりますので、ぜひ、各店自慢の鯨料理を味わっていただければと思います。また、ご来店される際は、各店舗で実施している新型コロナウイルス感染防止対策にご協力をお願いします。

なお、くじら祭りの開催期間について、定休日等により期間が前後しているお店がありますので、詳しくは釧路くじら協議会ホームページをご覧ください。

【問合先】釧路くじら協議会 TEL：0154-22-0191

（最後に）新型コロナウイルス感染症について

【質問：エフエムくしろ パーソナリティー】

最後に、市長から市民の皆さんへメッセージはありますか？

【回答：市長】

最後に新型コロナウイルス感染症拡大防止についてお話しします。普段より市民の皆さんには、感染防止についてご協力をいただいているところでありますが、釧路管内では8月上旬に6日間連続で9名の方の感染が公表されています。

緊急事態宣言が解除され、少しずつ人の動きが活発になっていることが要因の一つと考えられ、今一度、基本に立ち返り、マスク、手洗い、3密を避ける等の感染症対策を個々に行っていただくことを、市民の皆さんにお願いしたいと思います。

また、8月11日（火曜日）、釧路市医師会よりPCR検査センターの設置についての要望をいただきました。PCR検査センターの設置は、感染拡大に備える目的や医療機関の負担軽減、医療体制の維持につながることから、開設については早期の設置を目指し、保健所や釧路市医師会などと相談しながら協議を進めているところです。

新型コロナウイルスと共存する上で、正しい情報に基づき、正しく恐れることや、感染経路を断つことが重要になります。今後も、市として、正しい情報発信に努めていきますので市民の皆様にはご協力お願いします。

【問合先】健康推進課 TEL：0154-31-4524